

本講義資料のご利用にあたって

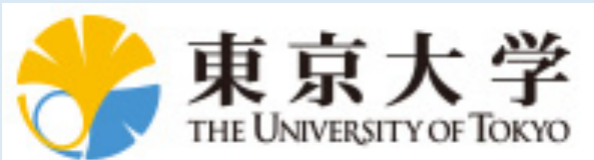
本講義資料内には、東京大学が第三者より許諾を得て利用している画像等や、各種ライセンスによって提供されている画像等が含まれています。個々の画像等の利用については、それぞれの権利者の定めるところに従ってください。

著作権が東京大学の教員等に帰属する著作物については、非営利かつ教育的な目的に限り再利用することができます。

ご利用にあたっては、以下のクレジットを明記してください。

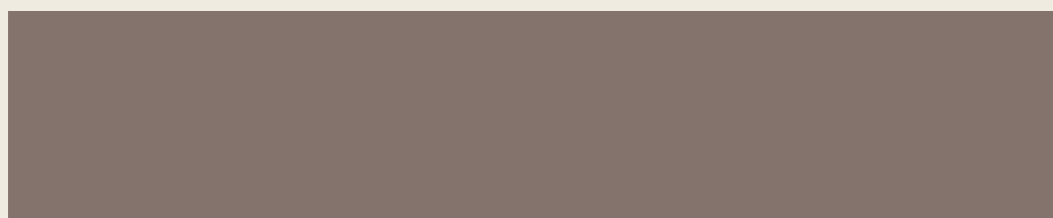
クレジット：

UTokyo Online Education 学術フロンティア講義 2023 石井剛



30年後の世界へ

空気はいかに価値化されるべきか



E A A

EAST ASIAN ACADEMY
FOR NEW LIBERAL ARTS

EAST ASIAN ACADEMY FOR NEW LIBERAL ARTS

東アジア藝文書院

-
- 北京大学とのジョイント研究・教育プログラム
 - 東アジアからの新しいリベラルアーツ
 - ダイキン-東大産学協創協定

「火と水の不可能な結婚」

天墜未形，馮馮翼翼，洞洞瀾瀾，故曰太昭。道始生虛廓，虛廓生宇宙，宇宙生氣。氣有涯垠，清陽者薄靡而為天，重濁者凝滯而為地。清妙之合專易，重濁之凝竭難，故天先成而地後定。天地之襲精為陰陽，陰陽之專精為四時，四時之散精為萬物。積陽之熱氣生火，火氣之精者為日；積陰之寒氣為水，水氣之精者為月；日月之淫為精者為星辰，天受日月星辰，地受水潦塵埃。

《淮南子》天文訓



E A A

EAST ASIAN ACADEMY
FOR NEW LIBERAL ARTS



東アジア藝文書院

空気の価値化？

野澤俊太郎特任准教授（東アジア藝文書院）



人文学・社会科学が「空気の価値化」 について考えることの意義



価値（付ける）とは何か？

- 価値体系の前提が変化している
- 人新世 = 私たちを取り巻く環境はもはや客体的な存在ではない
人間が地球環境から一方的に何らかのエネルギーを受け取る構造
→ 今日地球環境の動態は、人間の一挙手一投足、動植物や細菌類の活動、ありふれたモノや空気等との関わり合いと密接に絡み合っている

今日価値（付けるという行為）はどのように機能しているか？
何に依拠することでこれらの問いに答えることができるか？

人文学・社会科学が「空気の価値化」 について考えることの意義



なぜ空気なのか？

- 万物にとって良質な空気（あるいは大気の状態）が重要な問題になっている

社会的共通資本としての空気は、動植物、細菌類、大地、人間の暮らし、生産活動、テクノロジー等とどのように複雑に絡み合い、物理的のみならず、社会的かつ文化的に関係し合っているか？

- 空気と人や社会の関係
- 空気の課題と価値
- 空気が人や社会に貢献するロジック



一緒に社会的共通資本としての
空気の価値について考えましょう！

空気はいかに価値化されるべきか

- グローバルな気候変動
- 空気を条件づけること（air conditioning）と人間を条件づけること（human conditioning）
- 非価値の価値
- 社会的共通資本
- 関係性の〈場〉としての空気



東アジア藝文書院



宇沢弘文

(1928-2014)

『社会的共通資本』（岩波書店、
2000年）



東アジア藝文書院



東アジア藝文書院

- 社会的共通資本は、一つの国ないし特定の地域に住むすべての人々が、ゆたかな経済生活を営み、すぐれた文化を展開し、人間的に魅力ある社会を持続的、安定的に維持することを可能にするような社会的装置を意味する。
 - 社会的共通資本は私的資本と異なって、個々の経済主体によって私的な観点から管理、運営されるものではなく、社会全体にとって共通の資産として、社会的に管理、運営されるようなものを一般的に総称する。社会的共通資本の所有形態はたとえ、私有ないし私的管理が認められていたとしても、社会全体にとって共通の財産として、社会的な基準にしたがって管理、運営されるものである。
-



東アジア藝文書院

- 社会的共通資本は、土地、大気、土壌、水、森林、河川、海洋などの自然環境だけでなく、道路、上下水道、公共的な交通機関、電力、通信施設などの社会的インフラストラクチャー、教育、医療、金融、司法、行政などのいわゆる制度資本をも含む。
 - 社会的共通資本の管理、運営は決して、政府によって規定された基準ないしルール、あるいは市場的基準にしたがっておこなわれるものではない。この原則は、社会的共通資本の問題を考えると、基本的な重要性をもつ。社会的共通資本の管理、運営は、フィデューシアリー（fiduciary）の原則にもとづいて、信託されているからである。
 - 社会的共通資本の管理を委ねられた機構は、あくまでも独立で、自立的な立場に立って、専門的知見にもとづき、職業的規律にしたがって行動し、市民に対して直接的に管理責任を負うものでなければならない。
-



東アジア藝文書院

授業スケジュール

学内外講師によるオムニバス講義



第2回 4月14日

花する空気

中島隆博

本学東洋文化研究所・所長

東アジア藝文書院学術顧問



東アジア藝文書院



第3回 4月21日

資本主義と空気の価値

～市場・国家・社会的共通資本～

安田洋祐

大阪大学



東アジア藝文書院



第4回 4月28日

時間をあたえあう

—タンザニアの零細商人の贈与論

小川さやか

立命館大学



東アジア藝文書院



第5回 5月19日

「空気の価値化」を通じて考える「知の価値」

五神真

理化学研究所理事長

東京大学前総長



東アジア藝文書院



第6回 5月26日

空調メーカーが試行している空気の価値化

香川謙吉

ダイキン工業株式会社



東アジア藝文書院



第7回 5月29日

現代アートにおける 空気の可視化

山本浩貴

金沢美術工芸大学



東アジア藝文書院



第8回 6月9日

建築と空気

川添善行

本学生産技術研究所



東アジア藝文書院



写真：yamashita kayo

第9回 6月16日

ステイクホルダー価値を軸 とした企業社会のパラダイ ムシフトと空気の価値化

坂田一郎

本学工学系研究科



東アジア藝文書院



第10回 6月23日

ひとと空気の歴史社会学

空気にも歴史がある

佐藤健二

本学執行役・副学長



東アジア藝文書院



第11回 6月30日

グローバル・コモンズ を守り育むために

石井菜穂子

本学理事



東アジア藝文書院



第12回 7月7日

空気が商品になるとき

—炭素税、CCS、ジオエンジニアリング

斎藤幸平

本学総合文化研究科



東アジア藝文書院



第13回 7月14日

空気の哲学としての新しいリ ベラルアーツへ

—責任と希望の学問

石井剛

本学総合文化研究科

東アジア藝文書院・院長



東アジア藝文書院